

D滑走路維持管理等工事がインフラメンテナンス大賞特別賞を受賞しました。

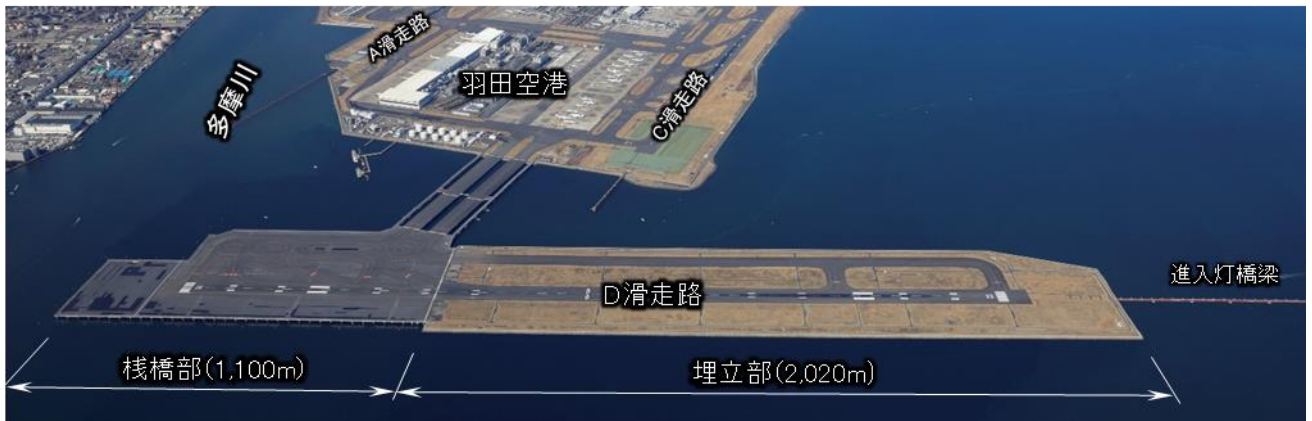
我が国で初めて建設した埋立-栈橋複合構造の東京国際区空港（羽田空港）D滑走路において、設計供用期間 100 年にわたって性能を確保するために実施している維持管理に関する取り組みが認められ、第 6 回インフラメンテナンス大賞において、特別賞（メンテナンス実施現場における工夫部門）を受賞しました。

（案 件 名） 100 年間性能を確保する羽田空港D滑走路の維持管理サイクル

（受 賞 者） 国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所
羽田再拡張D滑走路維持管理工事共同企業体

（取組概要）

- ・ 様々な新技術を用いて我が国で初めて建設した埋立-栈橋複合構造の羽田空港D滑走路を、設計供用期間 100 年にわたってその性能を確保
- ・ 構造物の長寿命化を前提とした合理的な設計を行うとともに、設計や施工上の思想を反映し、かつ予防保全の考え方を核とした 100 年間の維持管理計画を作成
- ・ 維持管理計画に基づき、数多くの対象項目を点検・調査し、そこで得られた膨大なデータを定期的に評価・検証し、その結果から効率的かつ継続的に計画の見直しを行う維持管理サイクルを確立



D滑走路全景



飛沫帯等の厳しい腐食環境に対する防食仕様
(ステンレスライニングとチタンカバープレート)



栈橋上部点検状況
(足場兼ねたチタンカバープレート)

国土交通省報道発表： https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000286.html

※インフラメンテナンス大賞

日本国内における社会資本のメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的として、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、防衛省の主催により実施するものです。